

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和6年8月30日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会 派 名 創志会

代表者名 松尾 和仁



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受 命 者	畑中 優周
出 張 先	岩手県 一関市 奥州市
期 間	令和6年8月21日～令和6年8月23日（3日間）
用 務	一関市・奥州市～議会改革について
調査（研修） 結果等の概要	別紙参照
備 考	

- 注） 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、
本出張報告書（原本）とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

令和 6 年度 議会改革について視察報告書

日 程 令和 6 年 8 月 22 日（水曜日）

視察先 岩手県一関市（人口約 10 万 6 千人、議員定数 26 人）

対応者 勝浦 伸行氏（一関市議会議長）三浦 洋氏（一関議会事務局長）

視察者 畑中 優周

議会改革について

① 議員名簿一覧に各議員の政策紹介がなされているが各議員がそれぞれ作成したものを掲載しているのか

- ・事務局職員が作成したものなのを掲載しているのか
- ・内容について事務局で手直ししているのか

※ 各議員が作成したもので（選挙公報）を掲載しており、選挙に関するワードは議会事務局で各議員と調整している（釧路市議会では実施はされていないが今後必要と認識した）

② 一般質問についてどのような経緯から議会改革の議題になったのか
特に質問内容の重複についてはどのような経緯で議題となったのか

※ 議会モニターから「同じような質問と答弁あり時間の無駄と感じた」「同じ内容の質問は事前調整してまとめるべき」などの意見があった、通告時間について現在は答弁時間を含めた「往復方式（40 分）」しているが答弁時間が長く質問の時間が少なくなってしまうので答弁時間を除く「片道方式」の検討をされている（釧路市議会は重複質問もあるが観点は重複していない。質問時間は片道方式（30 分）で実施されている）

③ 常任委員会代表質問について、どのような経緯から議会改革の議題となったのかまた、質問内容について各委員へ事前に通告や確認依頼をして調整するのか委員会代表質問を行う議員はどのように決めているのか

※ 5 会派のうち 4 会派から「常任委員会単位での代表質問」を議会改革項目にするように提案があり令和 5 年度の改革項目に位置付け協議を続けてきた、最終的には政策提言の実施と一体的なものとして指針の中にも明記した。（常任委員会における専門的な調査を踏まえ所管事項に関する政策提言を積極的に行う手法として委員会の代表質問を導入した）なお、実際の質問実施には至っていない（釧路市議会では常任委員会単位での専門的調査は行っているが政策提言は会派単位で行っている。代表質問も委員会単位ではなく会派代表制となっている 議論はすべきだが実施は難しいと思う）

一関市議会の取り組み

① 議会だよりのリニューアル（手に取ってみたいくなる広報誌をテーマに大幅刷新）

～表紙など写真ではなくイラストへの変更で堅苦しくない

（釧路市議会でも早急に対応すべき）

② 議会モニターとの直接対話（市民を議会モニターに委嘱し市民感覚の素朴な意見を議会改革に活かす）

～市内在住の18歳以上公募し定員は10名、議会・委員会などを傍聴し意見提案などを提出する議会広報誌に関する意見、議会運営について議員と意見交換（年2回開催10月、3月）などを行う、（議会としての考え方の説明する）謝礼年間1万円定員10～12名程度、市職員0Bや町内会長など（議会モニター制度は斬新で若者の定数枠も考えるなど必要だと思う）

③ 大学への研究依頼（岩手大学に地方議会の議員活動の見える化などを共同研究）

～地域課題解決プログラム、地域社会への貢献という趣旨として実施している。指導教員の下で学生の視点、卒業論文のテーマとして課題解決手法を提案する事業、「地方議会の議員活動の見える化及び議員のなり手確保について」を依頼した。学生とのオンライン意見交換会、議長が大学での講演、アンケート調査など成果として学生向けリーフレットの作成、今後は高校での授業を検討

（議会としては釧路公立大学教授が改革委員会のメンバーであるが学生の参加も促していくことも重要である、高校生との意見交換会も今後とも回数を増やし、主権者教育としても重要と考えている）

④ 市民との懇談会の実施（高校生、短大生など若い世代と懇談の実施、市長への提言）

～議会基本条例に基づき毎年度実施している、市民から生の声を聴くことで市政課題の把握が可能、議会の活動報告を兼ねること、市民の声をベースにした議会活動が可能となる

（議会でも取り組んでいるが報告会なので市民意見を聞くことが重要と考える、主権者教育も重要で懇談会実施後の議会運営委員会や各常任委員会、議員全体会議後とりまとめ市長への提言まですべき検討課題と考える）

※ 議会改革とは広報リニューアル・政策提言・政策検討会議・通年議会・オンライン会議

AI翻訳・デジタル化・議会モニター・市民懇談会がキーワードである

一関市役所

説明風景



視察先 岩手県奥州市（人口約 10 万 7 千人、議員定数 28 人）

対応者 菅原 由和氏（奥州市議会議長）佐藤 祐一氏（奥州市議会事務局副主幹）

議会改革について

- ① ラジオ放送「電波に乗せて奥州市議会」について発言内容、出演議員についてどのように決めているのか

※隔週木曜日 15 時 40 分から 15 時 55 分、再放送は翌火曜 18 時 30 分から 18 時 45 分
年 4 回発行している「おうしゅう市議会だより」のラジオ版で定例会や臨時会に加え会派や常任委員会の活動を紹介、市民からの議会活動に関する疑問、質問にも答えている
放送内容によって議長・副議長や各常任委員会正副委員長、会派視察については参加議員が出演している

- ② オンライン会議について本会議及び委員会をオンライン開催した実績はあるのか
・課題はどうであったか

※2023 年 8 月から導入～2 月 7 日総務省通知で表決を伴わないオンライン会議が可能となった
議場をオンライン対応にするため Zoom 表示可能に改修、12 月会議規則を改正した
現在、オンラインでの本会議質疑は実績がない

- ③ 児童乳幼児の傍聴制限について撤廃後に傍聴に来た実績について

※児童・乳幼児の傍聴につきましては議長の許可が必要でしたが、全ての方の傍聴を可能とした
議事公開の原則から実施したもので次世代を担うお子様の教育の場や子育て世代の皆様が
市政に興味を持っていただく場として撤廃した。
お子様が泣いた場合などにお休みいただく場所として、休憩室も用意されており、普段は
図書室で、テレビで議会中継を傍聴することができる

- ④ ホームページに掲載されている議長マニフェストについて議長が改選されるごとに同様に掲載しているのか

※改選時（4 年間）に策定している市民に実行計画による実行目標と工程の明確化している

市議会の見える化の推進

- ・実行計画による実行目標と工程の明確化
- ・各委員会の活動状況の見える化
- ・議会改革の取り組み状況とアウトカムの評価・公表
- ・議会 ICT 推進方針の明確化

広報・広聴活動の充実・強化

- ・広報と広聴機能の一体的な取り組み体制の整備
- ・様々な世代の市民参画と多様な市民意見の把握
- ・広報の工夫と充実を図り市民に分かりやすい情報発信

コロナ禍の情報展開

- ・タブレット端末でのオンライン会議・調査・視察の実施
- ・ラインワークスによる連絡手段の新設（30 万程度）
- ・コロナ対応の「議会 BCP」の策定
- ・グーグルフォームを活用した政策提言のためのオンラインアンケートの実施

インターネットライブ中継時に字幕システムによる配信

- ・議場内傍聴席でも大型モニターによるライブ字幕配信も行っている（5 年間 2,600 万円）

オンライン本会議に対応した会議規則の改正

- ・災害等の発生、感染症のまん延防止措置等又は育児、介護等のやむを得ない事由により委員会を開会する場所への委員等の参集が困難であると委員長が認める場合には、オンライン会議システムにより委員会の会議に出席することを認め、かつ、委員が出席委員として会議に参加できるようにするもの

これまで市議会では、議会運営委員会などでオンライン会議システム「Zoom」を使用し、オンライン会議を試行してきたが、改正により、正式にオンラインでの参加も出席扱いとし表決も可能とした

市議会 議場



説明風景

